

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	CHEKA カリフォルニア		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 4月 14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28 (回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2025年 4月 11日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	調理活動を毎日行うという特色があります。調理活動を通じた療育では成果物としての料理を通じ、毎日適切な自己評価及び他社評価を行うことが出来るという強みがあります。	グループワーク、個別ワークを意図的に行い、同じ調理活動でもアプローチの違う療育を行うことを心がけています。	児童がもっとわかりやすく、もっと自主的に調理に取り組むことが出来るように、調理工程のわかりやすさを追求できたらと考えています。
2	スタッフ間の意見交換を行う機会が多いことです。	効果的な支援を行う為、活動前後にスタッフ会議を行い、その日の児童に対する支援について共有と振り返りを行っています。効果的な支援を充実させるため、またその日の児童の変化を共有しています。	日によって出勤しているスタッフが異なる為、意図的にスタッフ全体での意見交換を図る機会を検討しています。
3	祝日を開所し余暇活動を多く取り入れている事。	保護者ニーズ、利用者ニーズに合わせた余暇活動の実施に努めています。	他事業所や、地域住民との連携を行える余暇活動の立案、実施に努めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながりが希薄である。	コロナ禍において、地域住民との接触、集会等がはばかれた時期を経たことで、地域住民とのつながりや、地域の行事参加がはばかれていたことからそれが習慣化しているのだと思います。	今あっていることに参観するのではなく、地域住民を巻き込んだイベントの立案を事業所主体で行っていくことが求められていると考えます。
2	成人期事業所とのつながりが少ない。	福祉事業所の横のつながりが薄いこと。また連携を行った経験が少ない。	見学、職場体験のイベントなどの計画を行います。また、法人内で成人期事業の立ち上げを検討しているため、スタッフの勉強会実施や、施設への見学スタッフ交流を行います。
3	事業所の狭く利用児童が多い日には中高生は特に狭さを感じているという声が多く聞こえる。	物理的に狭さがある。機能訓練室の使用についての工夫が足りていない	事業所が狭いため空間の利用の工夫や機能訓練実施の際にはその日ごとに計画的な使用が求められる。